

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立防災安全センター	所管課	防災危機管理課
所在地	中央市今福991	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年4月1日
管理方式	指定管理者(一般財団法人山梨県消防協会 平成18年4月1日~)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立防災安全センター設置及び管理条例		
設置目的	県民に、防災に関する展示・体験等により、防災知識の普及・啓発を行うこと。 出張講座等を通じて、県民に防災知識の普及・啓発を行うこと。		
主な施設内容 (定員等)	展示・体験フロアー(381.66㎡)、視聴覚室(定員120人・145.78㎡)、訓練実習室(79.80㎡)、備蓄倉庫(248.40㎡)等		
主な業務内容	体験設備、展示品を活用した防災知識の普及啓発に関する業務 地域防災力の向上及び防災用資機材の使用方法等に関する研究 防災に関する文献、写真等の収集、保管及び展示 防災用資機材の備蓄及び保管		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	類似施設なし
---------------------	--------

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	入館者数	7,110	6,829	5,581	
	出張講座受講者数	6,854	15,693	15,587	
	防災指導車利用者数	13,290	21,392	20,233	
	利用者数合計	27,254	43,914	41,401	
	目標値	26,800	26,800	26,800	42,000
	目標値設定の考え方	入館者数3,800人 出張講座8,000人 防災指導車15,000人	入館者数3,800人 出張講座8,000人 防災指導車15,000人	入館者数3,800人 出張講座8,000人 防災指導車15,000人	入館者数5,800人 出張講座15,800人 防災指導車20,400人
	対23年度比	100.0%	161.1%	151.9%	154.1%
稼働率					

4 収支状況

単位：円、%

		平成24年度	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	0	0	0	0
	指定管理者委託料	12,617,000	12,617,000	12,617,000	13,190,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	12,617,000	12,617,000	12,617,000	13,190,000
支出	人件費	5,112,000	7,714,000	6,189,000	8,546,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	5,824,000	4,903,000	4,430,000	4,644,000
	(うち外部委託費)(B)	0	0	0	0
	支出合計(C)	10,936,000	12,617,000	10,619,000	13,190,000
収支差額(A - C)		1,681,000	0	1,998,000	0
外部委託比率(B ÷ C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当たりの経費		287	471	305	314

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期：平成25年4月～26年3月、実施方法：利用者へのアンケート、回答数：287人
-------	---

単位：%

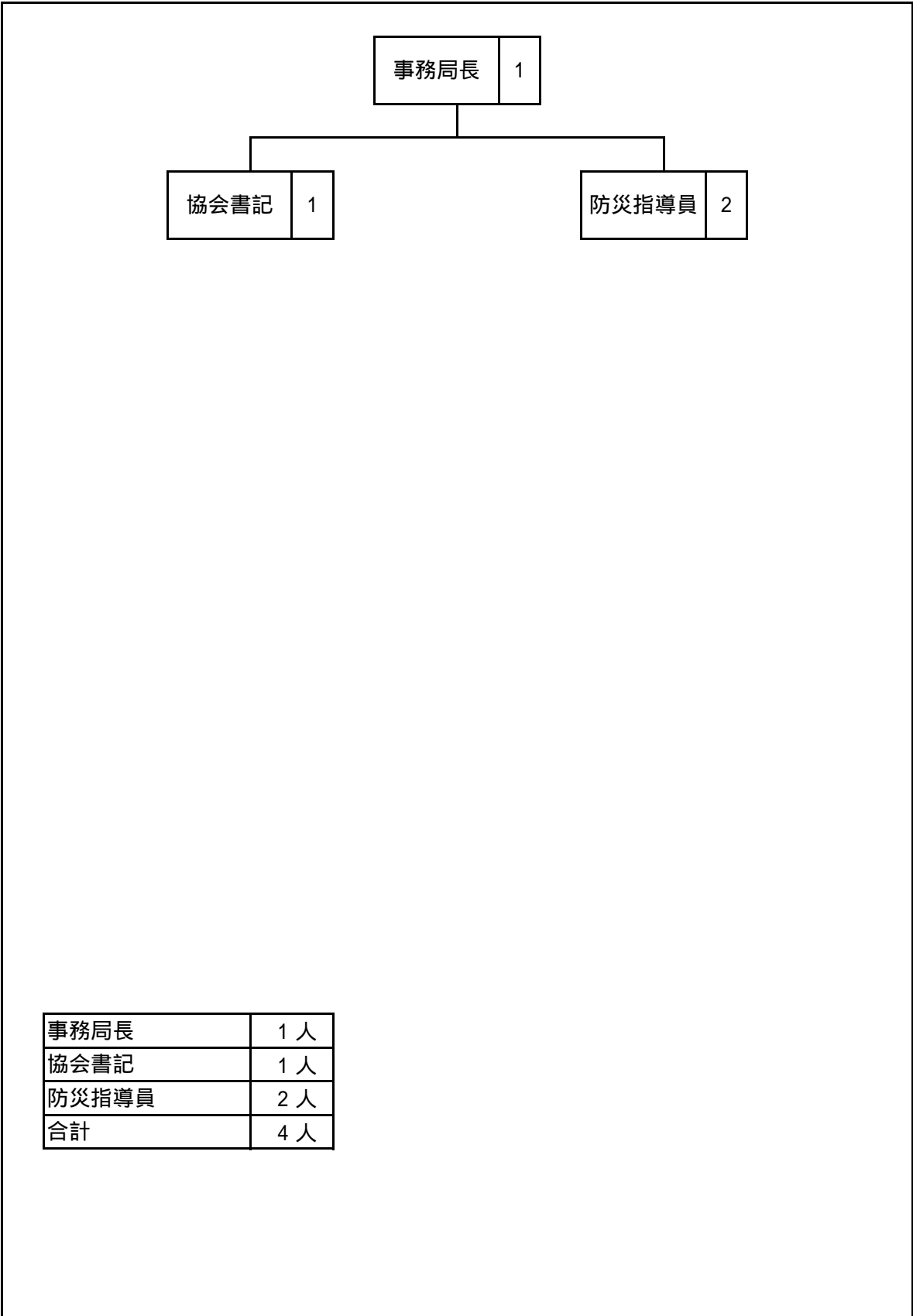
調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備の充実度	69.3%	0.0%	8.0%	22.6%
施設・設備の整備度	69.4%	0.0%	8.6%	22.0%
展示説明	96.6%	0.0%	3.4%	0.0%
来館に満足しているか	97.9%	0.0%	2.1%	0.0%
各項目の平均	83.3%	0.0%	5.5%	11.2%

利用者の意見	施設・設備が老朽化しているので新しくしてほしい。 センターのスタッフによる防災に関する講義が分かりやすい。
利用者の意見への対応	施設・設備については老朽化はしているものの良好な状態を維持するよう保守管理に努めている。 引き続き分かりやすい説明に努めるとともに、最新の防災情報の収集に努め展示パネルや視聴覚教材、配付資料等の防災に関する教材について適宜見直しを行っている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	来館者に不快な思いをさせない様、常に適切に管理している。	概ね管理業務計画書等のとおり適正に業務は遂行されている。
運營業務	出張講座の体験事業をメインに防災対策の普及・啓発に努めている。	概ね管理業務計画書等のとおり適正に業務は遂行されている。
自主事業	現時点では実施していないが、今後、県や市町村、企業等に対し、啓発・研修事業の共催実施を提案することとしたい。	新たに就任したセンター長を中心に自主事業の実施について検討して頂きたい。
利用状況	入館者数、出張講座及び防災指導車(起震車)体験とも事業計画の目標値を達成できた。 上記3項目の計画達成率は平均154%に達していることから、目標は達成したものと考える。 22年度から施設内に新たに設置された起震装置について、入館者の72%にあたる4,029人が体験するなどしており、入館者数増加の要因となっている。	引き続き、予約日程の調整やホームページの内容充実、積極的な働きかけなどにより、体験事業の実績向上に努められたい。入館者、出張講座受講者及び防災指導車(起震車)利用者の何れも、年度の計画数を上回っていることから、26年度についても同様に利用者の受入れを積極的に図って頂きたい。出張講座受講者数の増加と併せて、利用状況は評価できる一定の水準にあると考えられ、防災対策に関する普及啓発について、一定の成果をあげたものと見受けられる。
収支状況	人件費をはじめ義務的経費の比率が高い中で、各支出について点検し、経費の節減に努め対応している。	今後も、各支出について点検し、適正な事業計画の策定と、より一層の効率的な運営に努めて頂きたい。
利用者満足度	ほぼ全員が「満足」・「まあまあ満足」してくれたので、成果が出たものと評価する。	利用者の評価は良好であると判断される。アンケートの見直し等工夫し、一層の回答数の増加に努めて頂きたい。また、利用者意識の把握に努め、サービス向上に役立てて頂きたい。
運営目標の達成状況	防災安全センターを、住民の生命と暮らしを守るための防災知識が習得できる施設として運営し、一人でも多くの県民に防災の知識と体験を提供できるようにすることが目的であるため、利用者数を運営目標としている。25年度においては、出張講座も含めた利用者数は41,401人と運営目標の26,800人を上回っていることから、目標は達成できていると考えられる。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	<ul style="list-style-type: none"> ・現地確認等を通じて調査したところ、概ね業務は適正に実施されている。 ・利用者からの評価についても、良好である。 ・利用実績については、高い水準を維持しているものの若干の減少が見られるため、利用者の増加に繋がるよう、さらなる取組を図ることが必要である。 ・運営にあたっては経費削減に努めており、安定した経営が図られている。 ・切迫性が指摘される東海地震や富士山噴火などに的確に対応できるよう、これまで以上に防災知識の普及啓発、利用者のサービスの向上、施設等の維持管理に取り組むことが必要である。 	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	入館者数や防災指導車の利用者数等は、平成23年度比で大幅な伸びを維持している。また利用者の満足度も高いことから防災知識の普及・啓発に貢献していると考えられる。26年度から新たに防災のエキスパートをセンター長として配置し、更なる講座の充実、展示や体験設備の見直し強化等を図っていることから、今後の利用者の増加に期待ができる。	

7 管理体制(組織図)



事務局長	1人
協会書記	1人
防災指導員	2人
合計	4人